

## 週日の説教

金 大烈 神父 2009年7月11日(土)

《神様以外への恐れは捨てましょう。自信をもって信仰を表しましょう》

今日のみ言葉(マタイ 10・24 33)は、よく分かっている話ですね。イエス様のみ言葉の最終的な結論のような話であることも、私たちが少なくともこのくらいはきちんと身につけてはいけないことも、よく分かっています。それなのに、一番難しいところにもなるかもしれません。

このみ言葉の中で、いろいろなことが話されたのですが、二つのことについて分かち合いたいと思います。

私の目に留まったのは、この箇所です。

**「体は殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。むしろ魂も体も地獄で滅ぼすことのできる方を恐れなさい。」**

実際に、私たちはいろいろなことで怖がっています。いろいろなことを恐れています。そして、その恐れているもの、怖がっているものの99パーセントは人間によるものでしょう。人によって襲われる怖さです。幽霊が怖いでしょうか？ 怪物が怖いでしょうか？ 自然災害が怖いでしょうか？ 温暖化で地球が滅亡する可能性もありますが、そんなに深刻に怖がっている人はあまりいませんね。それでは、私たちが怖がっているものは何でしょうか？ 人ですよ。自分を嫌な目で見える人、自分をいじめめる人、いつも憎しみの目で見える人、自分が憎んでいる人、その人々が怖いのですよね。真夜中に山の中を一人で歩いていて怖いのは、幽霊が現れるからでしょうか？ そうではありませんね。知らない人が刃物を持って襲ってくるのではないかと、それが怖いのでしょうか。

しかし、イエス様ははっきり私たちにおっしゃっています。「肉体を殺す者を怖がる必要はない。それより、あなたの魂を滅ぼす力を持つ神様を怖がってほしい。」と。

こういう基本的なことを守れば、たぶん私たちは、もっとたくましく信仰生活を送れるのではないかと思います。

皆様、よく考えてみてください。今、怖がっているものが、いくつかあると思います。神様のことでなければ、それらを全部捨ててください。意味のない怖がりです。今日の福音では、そういう意味で、私たちの靈魂を治められる神様を本当に意識するようにと話されていると思います。

二番目に目に留まったのは、

**「だれでも人々の前で自分をわたしの仲間であると言い表す者は、わたしも天の父の前で、その人をわたしの仲間であると言い表す。しかし、人々の前でわたしを知らないと言う者は、わたしも天の父の前で、その人を知らないと言う。」**です。

皆様はどうですか？ この言葉に自信があるでしょうか。どんな集まりに行っても、どんななかわりの中でも、自分がカトリック信者であることをはっきり表しているでしょうか？ そうではない方が、結構いらっしやると思います。これは、私が三年前に、皆様に強く強調したことです。今は、レストランに入って食事をする前には、十字架をはっきり切るとします。きらない方はまだまだです。簡単なことです。高速道路のドライブインに入って、うどんを注文しますよね。自信を持って、「父と子と聖霊との御名によって」と祈ってください。からかう人は一人もいません。「あの人はい！」と気にする人がいれば、それが一つの宣教となります。自信をもってください。恥ずかしさのもと、神様ではありません。恥ずかしがる自分です。

さあ、皆様、イエス様は、はっきりおっしゃいましたね。「あなたが私のことを仲間と言えなければ、私もあなたのことを知らん振りするから、はっきり覚えておきなさい。」と。カトリック信者である私たちにとって、この言葉は、ものすごく必要な言葉だと思います。プライドを持って、自信満々で、カトリック信者であることを表してください。

ありがとうございました。